

2016年3月期 第2四半期決算の概要

2015年11月5日

IBJ
LEASING **興銀リース株式会社**

本資料には現時点での将来の予測数値が含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的とするものではありません。

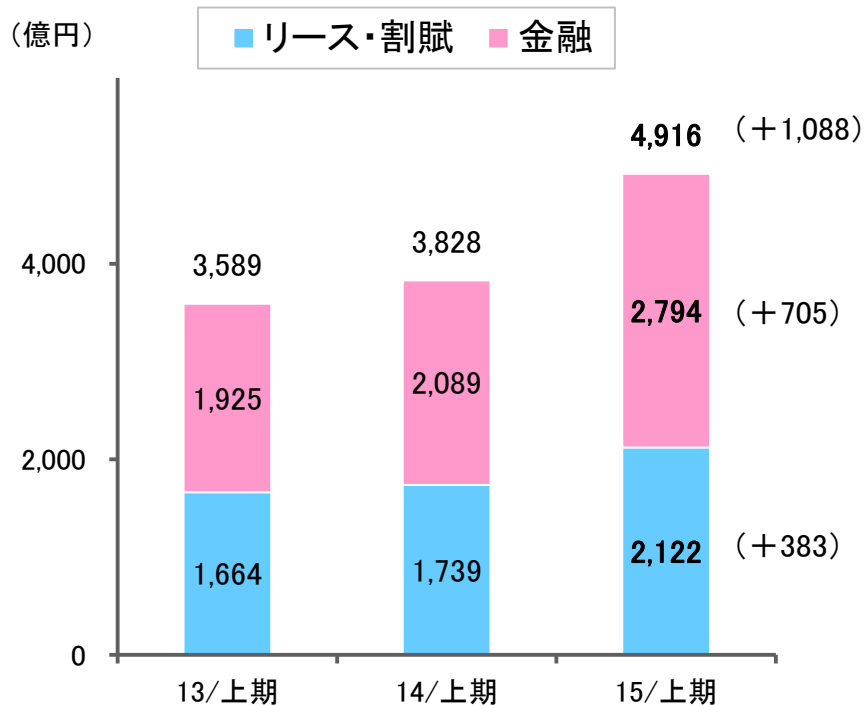
- 営業資産が順調に積み上がり、差引利益は増加に
- 信用コスト要因(前年同期は大口戻入)により、営業利益、経常利益は前年同期比マイナスだが、差引利益の増加と特別利益により、純利益は増益

連結P/L (億円)	2013年度 上期	2014年度 上期①	2015年度 上期 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①	通期予想 <進捗率>
売上高	1,770	1,689	1,662	▲27	▲2%	<47%> 3,550
差引利益	220	210	214	+4	+2%	—
(資金原価)	(31)	(31)	(32)	(+1)	(+4%)	—
売上総利益	189	179	182	+3	+2%	—
(一般経費)	(94)	(94)	(97)	(+3)	(+3%)	—
営業利益	111	90	83	▲7	▲7%	<49%> 169
経常利益	114	94	88	▲6	▲7%	<50%> 176
(信用コスト)	(▲17)	(▲6)	(1)	(+7)	(—)	—
特別損益	1	▲1	4	+5	—	—
四半期純利益 [※]	70	58	59	+1	+2%	<51%> 115
営業資産残高	12,693	13,316	14,980	+1,664	+5%	—

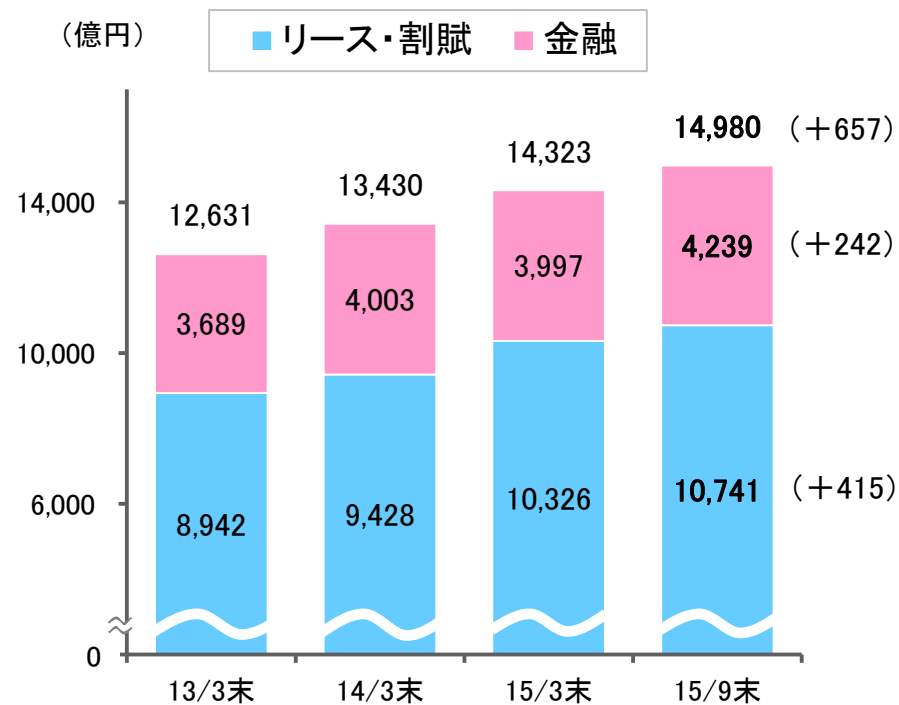
※15年度は親会社株主に帰属する四半期純利益の金額を表示

- 契約実行高は「リース・割賦」「金融」とも大幅に増加し全体では前年同期比+28%
— 「リース・割賦」: 同+22%、「金融」: 同+34%
- 営業資産残高は前期末比+5%となり、今期末の目標1兆5,000億円を上期でほぼ達成

契約実行高



営業資産残高



■ 契約実行高は昨年度に引続いて順調に伸長し、前年同期比+22%

- [産業・工作機械]は引続き大企業向けの設備投資案件を取込み前年同期比+54%
- [情報通信機器]は大手通信事業者の設備投資を捕捉し増加
- [不動産リース]はREIT向けの大型ブリッジ案件に対応し伸長

機種別契約実行高

(億円)	13年度 上期	14年度 上期	15年度 上期	増減額(率)	業界 機種別 増減率*
産業・工作機械	311	335	515	+180 (+54%)	(+45%)
情報通信機器	480	273	358	+85 (+31%)	(+11%)
輸送用機器	165	205	224	+19 (+9%)	(+7%)
土木建設機械	212	259	172	▲87 (▲34%)	(▲4%)
医療機器	130	114	148	+34 (+29%)	(+27%)
商業・サービス業用機器	138	174	184	+10 (+6%)	(+3%)
事務用機器	66	50	54	+4 (+6%)	(+0%)
その他	162	328	467	+139 (+43%)	(+42%)
不動産リース	48	205	348	+143 (+70%)	
合計	1,664	1,739	2,122	+383 (+22%)	(+15%)

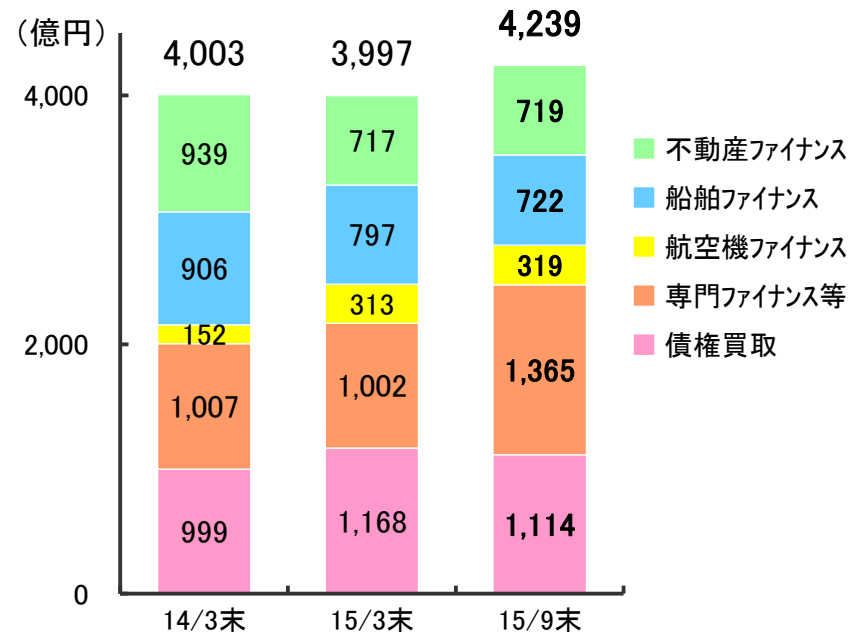
*リース事業協会公表データを基に作成

- 多様な金融ニーズの捕捉に注力した結果、すべての分野で契約実行高は伸長
 - [債権買取]は引続き大企業のニーズに対応し堅調に推移
 - [専門ファイナンス等]、[航空機ファイナンス]は注力分野として取扱いを拡大
 - [不動産ファイナンス]は大手不動産会社のブリッジ案件等、対象を絞って取組み
- 金融分野全体の営業資産残高は前期末比+6%

契約実行高

(億円)	13年度 上期	14年度 上期	15年度 上期	増減額(率)
債権買取	1,534	1,715	1,982	+267(+16%)
専門ファイナンス等	205	202	486	+284(+141%)
航空機ファイナンス	37	70	121	+51(+73%)
不動産ファイナンス	75	58	140	+82(+139%)
船舶ファイナンス	75	44	65	+21(+49%)
合計	1,925	2,089	2,794	+705(+34%)

営業資産残高



■ 良質な営業資産の積上げにより差引利益は反転増加

- リース・割賦はスプレッドの低下を抑制しつつ資産を拡大し、前年同期比並みを維持
- 金融は高収益案件の積上げにより、前年同期比5億円の増加

運用利回り

	13年度 通期	14年度 通期	15年度 上期	増減
差引利益率	3.30%	3.00%	2.92%	▲0.08pt
資金原価率	0.49%	0.46%	0.44%	▲0.02pt
売上総利益率	2.81%	2.54%	2.48%	▲0.06pt
営業資産 (平均残高、億円)	13,031	13,877	14,651	+774

(注) 15年度上期の各率は年換算値

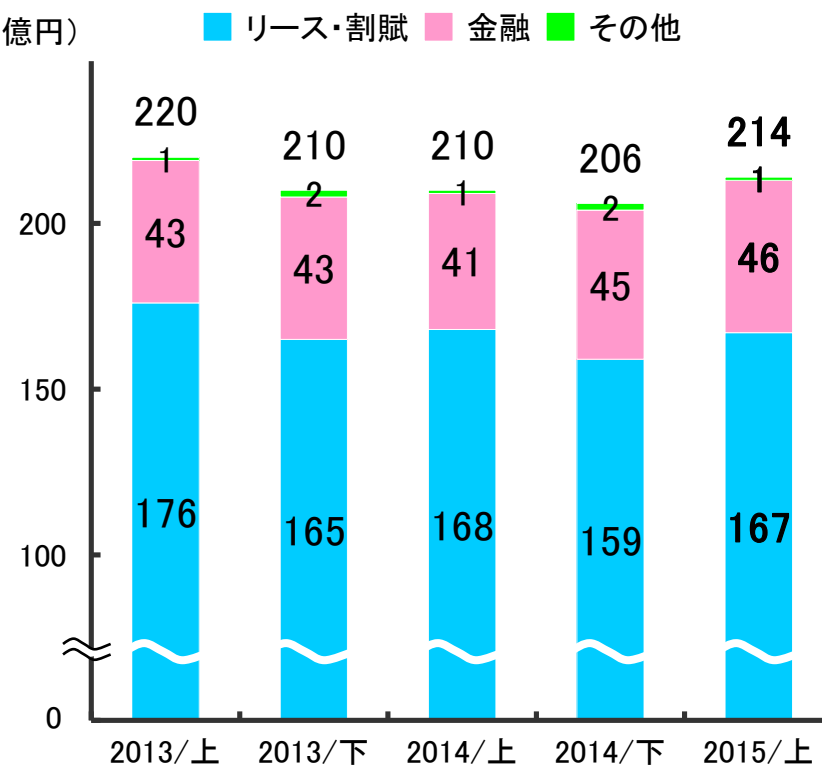
差引利益率 = 差引利益 ÷ 営業資産(平均残高)

資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産(平均残高)

売上総利益率 = 売上総利益 ÷ 営業資産(平均残高)

差引利益

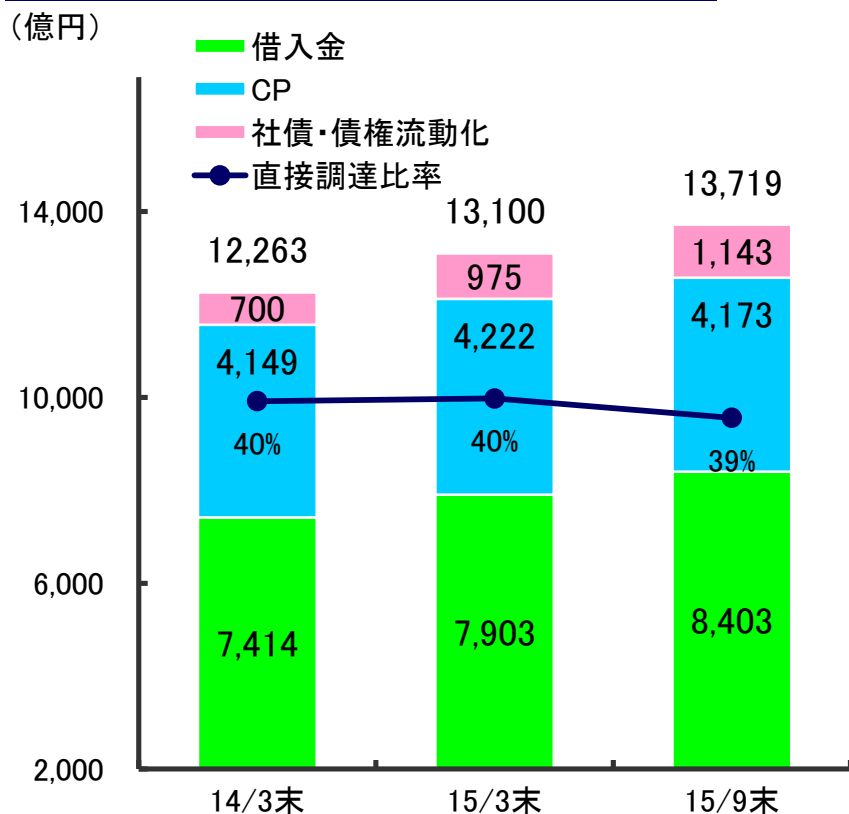
(億円)



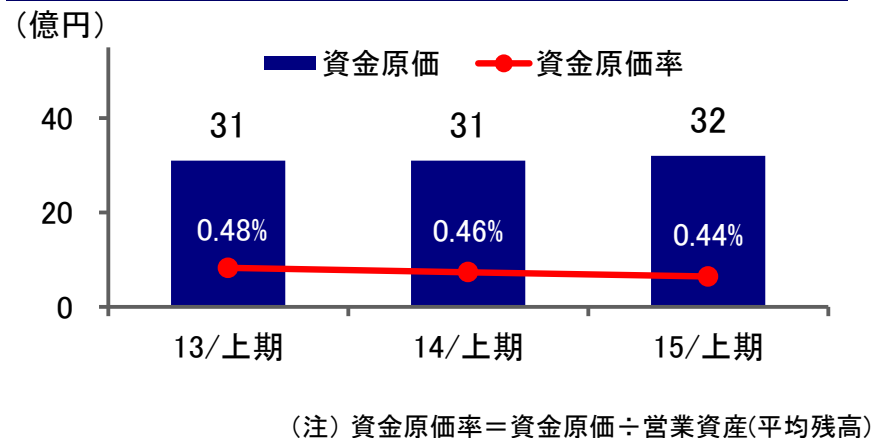
有利子負債・純資産

- 資金原価は引続き低位に抑制
- 営業資産の更なる増加に対応すべく、CP発行枠を500億円増枠
 - 興銀リース：3,500億円⇒4,000億円、IBJL東芝リース：1,500億円

有利子負債残高



資金原価(率)



純資産・自己資本比率

(億円)	13/3末	14/3末	15/3末	15/9末
純資産	849	1,098	1,233	1,299
自己資本比率	5.9%	7.2%	7.6%	7.7%

業績予想及び配当

- 上期は年度計画に対して順調に進捗、下期も計画達成に向け基本戦略の推進を加速
- 中間配当金は1株当たり30円の実施を決議。期末配当金(予定)の30円と合わせ年間配当金は1株当たり60円(4円増)と14期連続増配を予定

(億円)	2014年度 (実績)①	2015年度 (予想)②		増減額 ②-①	増減率 ②/①	
		上期実績	進捗率			
売上高	3,537	3,550	1,662	47%	+13	+0%
営業利益	179	169	83	49%	▲10	▲6%
経常利益	190	176	88	50%	▲14	▲7%
当期純利益 [※]	111	115	59	51%	+4	+3%

年間配当金	56円	60円	+4円
中間配当金	28円	(決議)30円	+2円
期末配当金	28円	(予定)30円	+2円
配当性向	21.4%	22.3%	

※15年度は親会社株主に帰属する当期純利益の金額を表示